

## テレビ会議について

3月22日、浜松医科大学と浜松医療センターは、専用の通信網を用いたテレビ会議システムによる初の合同症例検討会を開催しました。

同システムは、双方が離れた場所で互いの電子カルテを閲覧しながら情報交換ができます。また、個人情報保護の観点から、インターネット回線ではなく、専用の高度のセキュリティ回線を使用し、より安全に、かつ、リアルタイムにやり取りする形式は全国的にも珍しい取り組みです。

今回は、消化器系疾患の症例について、両病院の医師約30人が治療方針を話し合いました。

同じ病名でも患者によって病態は異なるため、多くの医師の知恵を集結させ、安全で治療効果の高い治療を進めていくことが期待できます。

今後も定期的にも実施して、連携を図り、患者へのより良い治療につなげていきたいと思っております。



浜松医科大学とのテレビ会議の様子

## Topics

～3月から5月までの主な出来事を振り返ります～

### 3.16 ベスト研修医・指導医受賞式

当院の最も優れた研修医にベスト研修医賞を、また、研修医指導に最も献身した指導医にベスト指導医賞を選出し、平成30年3月14日に授賞式を行いました。当院では、今後も医療人の育成を通じて、医療の質向上を目指していきます。



3月

### 4.2 新規採用者辞令式

平成30年度新規採用者辞令式が4月2日（月）に行われました。医師、コメディカル、看護師、事務員などが出席し、山下理事長から辞令が交付されました。



4月

### 5.1 小児病棟でこどもの日のイベント

平成30年5月1日に小児病棟でこどもの日のイベントを行いました。こいのぼりを作成し、最後に記念撮影を行いました。



### 5.2 看護学生によるハンドベル演奏会

平成30年5月2日に、「看護の日」のイベントの一環として、浜松市立看護専門学校の学生による、ハンドベル演奏会を開催しました。



5月

# ふれあい



平成30年3月2日付で、公益財団法人日本医療機能評価機構から、病院機能評価3rdG：Ver1.1の認定を受けました。今後も、医療の質向上にむけ、研鑽していきます。

## 目次

- ①はしかについて
- ②お産についてのホームページリニューアル
- ③共同開発について
- ④緑内障診療について
- ⑤テレビ会議について
- ⑥Topics



発行：浜松医療センター  
〒432-8580 浜松市中区富塚町328  
TEL 053 (453) 7111  
URL <http://www.hmedc.or.jp>

ご自由にお持ちください

## はしかについて

沖縄を旅行中の台湾人男性が麻疹（はしか）の診断をされて以降、沖縄のみならず他県でも麻疹の流行が広がっています。麻疹は空気感染をするため、患者と同じ電車に乗ったり、すれ違うだけでも感染してしまう可能性があります。また、その感染力はインフルエンザの10倍ともいわれています。麻疹に感染すると、最初は風邪を引いたような症状がでます。この段階で麻疹の診断をすることは困難です。その数日後、特徴的な発疹が出現します。有効な薬はなく、自然軽快を待つこととなります。但し、肺炎や脳炎を合併することがあり、死亡する割合は1000人に1人といわれています。また、10万人に1人の割合で発症後10年ほど経過して亜急性硬化性全脳炎という致死性の疾患を発症することがあります。麻疹はワクチンで予防することが可能です。これまで麻疹に罹患したことがない方や、ワクチンを2回接種したことがない方は積極的にワクチンを接種しましょう。

## お産についてのホームページリニューアル

当院のホームページ内にある、「お産について」のページをリニューアルしました。必要な情報へのルートをわかりやすくし、写真も一新しました。是非、ご覧ください。



「お産について」のホームページ画面

## 共同開発について

当院の臨床工学技士と福島県内にある(株)林精器と国産初のポンプテスターの共同開発を行いました。

多くの医療機関では、患者さんへの安全で正確な薬剤投与を行うために輸液ポンプやシリンジポンプといわれる医療機器を配備・使用しています。輸液ポンプやシリンジポンプの精度を測定するために必要なポンプテスターは、現在日本国内において海外製のものしかなく、当院においても米国製のポンプテスターを使用しています。新商品は、操作やデータ管理も容易にし、点検作業を担う臨床工学技士らの負担軽減につながります。また、価格も1台数百万円に上る外国製の3分の1以下に抑えることが期待できます。正確で操作性も高く、アフターケアも充実する国産の医療機器の普及は、被災地支援だけでなく、多くの医療機関においても、有益であると考えています。

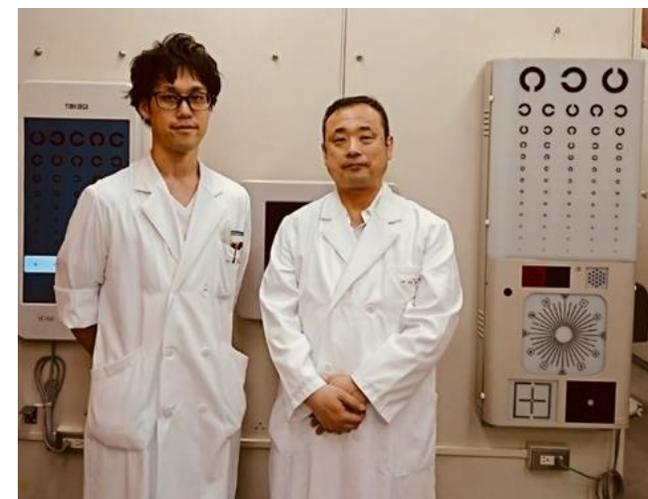


左：林精機従業員 中央：ポンプテスター  
右：中村臨床工学科長（当院）

## 緑内障診療について

現在、当院眼科は常勤医師2名に加え、聖隷浜松病院から川瀬和秀先生に、浜松医科大学からは月花環先生にお越しいただき、諸先生方を含めまして医師4名体制となっています。川瀬先生は、2018年4月から当院にお越しいただき、主に緑内障専門外来、緑内障手術をご担当いただいています。

当院でも緑内障外来という新しい専門診療外来を始めています。2018年5月から外来運営がスタートし、現在は、診療と並行に手術器具の充填、術前・術後管理の徹底化を図るための環境を整えております。2018年9月には本格的に外来、手術診療を円滑・十分に行えるよう準備を進めています。



左：松岡医師（当院眼科）右：川瀬和秀先生